

横浜富士見丘学園 中学校・高等学校



たくましくしなやかに自ら未来を創造する



「夢」は生きる強さ
幸せな未来を
築くために

Yokohama
Fujimigaoka Gakuen

夢を社会的使命に繋ぐ
国際教養人として未来社会を幸せに生きて欲しい

横浜富士見丘学園の教育目標、それは「未来社会の主人公である子供たち一人ひとりが、自らの個性、資質を活かし、幸せに生きる力を育む」ことです。

未来社会は、さまざまな国や地域の人々がさまざまな立場の人々と共に学び、共に働くことはあたりまえな社会、新たな技術があらゆる産業や社会生活に取り入れられることにより、働きかたや価値観そのものが大きく変わっている社会であるに違いありません。

多感な時期である中学・高校の6年間で、未来社会を幸せに生きる力の礎を築きます。さまざまを大切にし、自己肯定感と他者理解を育み、感性を磨き、共感力や気づく力、創造力、発信力やレジリエンス(心のしなやかさ)を涵養し、自己有用感と自立心を育みます。

あわせて豊かな教養、高い学力を身につけて品位と人格を磨き、高い志を持って欲しいと思います。生徒の皆さん一人ひとりが、自らの個性、資質を活かし、Noblesse oblige の精神で、自らの夢を社会的使命に繋ぐ国際教養人として未来社会で幸せに活躍することを願っています。



学校長 駒寄 健

Educational high lights

教育の特長

4つのカリキュラムポリシーで未来に向けた教育を実践します。

Point 1 確かな学力

- ◆ 国公立・難関私立大学合格を目指したい!
- ◆ MARCHなど私立大学合格を目指したい!

目標の大学への
進学を力強くサポートします。

Point 2 活きた英語力

- ◆ 様々な国の人と英語で
コミュニケーションがとりたい!
- ◆ 英語を武器に大学受験を突破したい!
- ◆ 海外で活躍したい!

そんな夢をかなえる多様な英語プログラム
“Vivid English Program”

Point 3 理数教育

- ◆ 医歯薬学系、
国公立・難関私立大学理数系を目指したい!
- ◆ AIを使いこなせるようになりたい!
- ◆ プログラミングができるようになりたい!

理数の時間を豊富に配置し、
情報分析力や数理能力を養います。

Point 4 生きる力

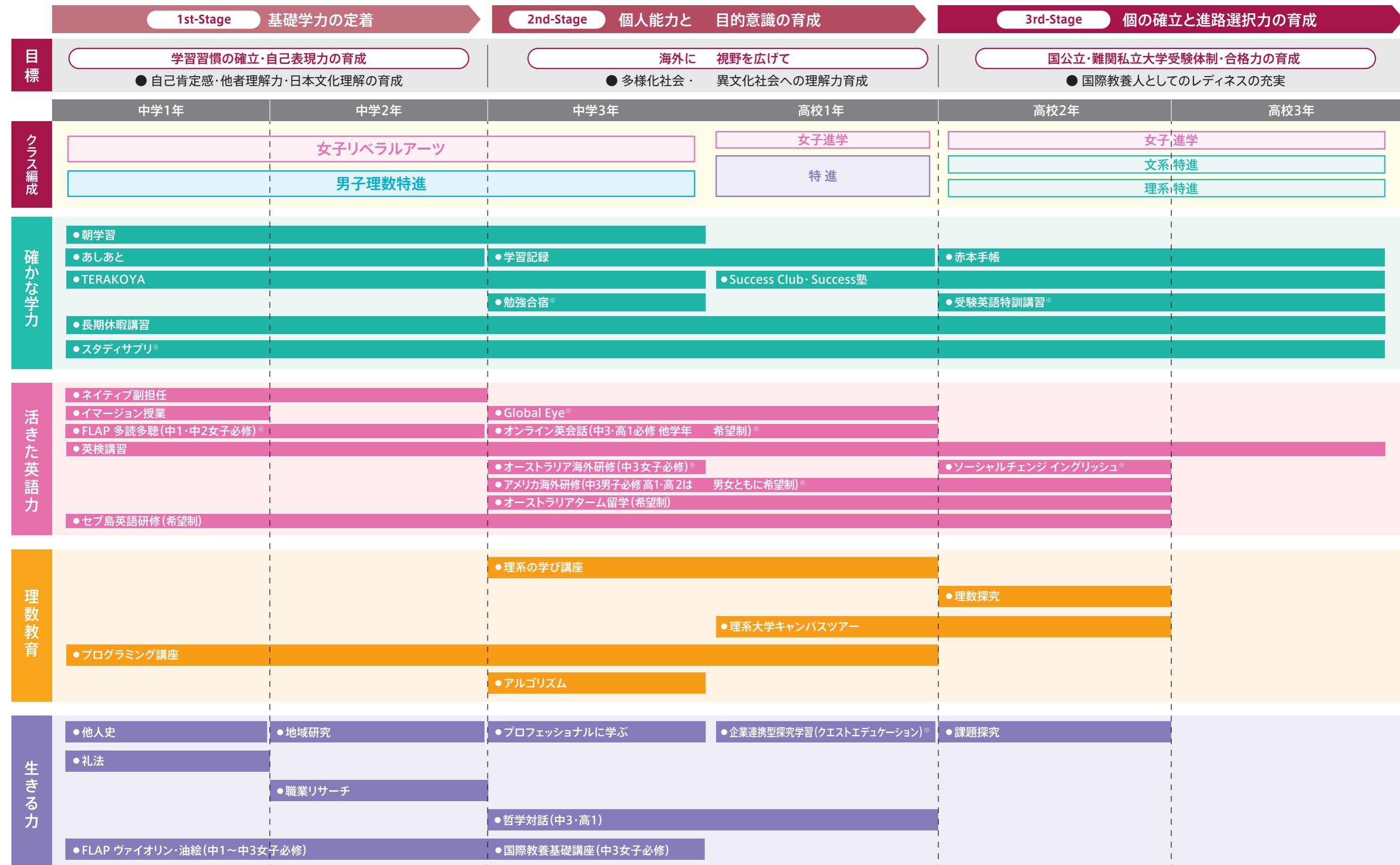
- ◆ 探索力・協働力・
プレゼンテーション力を身につけたい!
- ◆ 信頼される自分になり、社会で活躍したい!

「生きる力」が身につく
課題解決型、探究型学習。

6年間の教育

3ステージ制で、
一人ひとりの「夢」を実現する

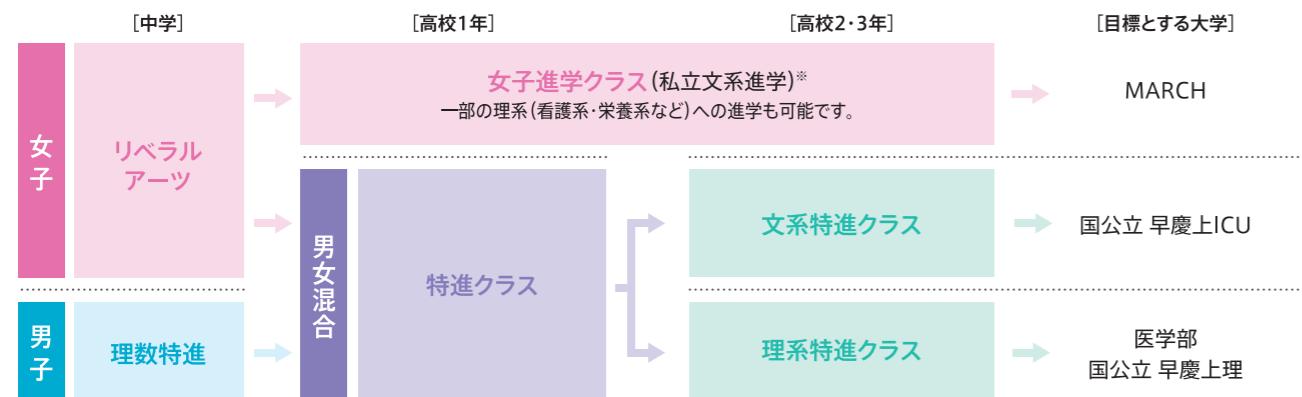
6年間を成長段階に適応した3ステージに分け、各ステージに合わせた学習プログラムと多様な体験型プログラムを用意しています。未来を「幸せに生きる」力を育みます。



※ 副教材費、又は積立金として徴収し充当します。

Point 1**基礎学力の定着と自ら学ぶ姿勢を育む****確かな学力**

大学合格力が身につく

**独自のクラス編成****◆ 成長段階に応じた独自のクラス編成**

本校は週6日制(土曜は4時間)を実施しています。平日の週3日は学年に応じて7時間目に授業や講習があります。中高6年間のスタート学年である中学1年次は、生徒一人ひとりの特長をとらえ、自己肯定感と他者理解を育み、学習に取り組む基本姿勢を確立するために、ホームルームクラスを、1クラス20名程度の少人数で編成しています。これは本校の大きな特長の1つです。中学2年次以降は、生徒の自立を促し、互いに切磋琢磨する環境へと段階的に切り替えていきます。中学2・3年次は1クラス30名程度のクラス編成、そして高校では1クラス40名程度での進路別クラス編成になります。

本校のもう1つの大きな特長は、中学段階は男女別

クラス編成をとっていることです。学習方法や学習ペースが異なる男女の成長にあわせた、きめ細かい指導を行っています。女子クラスは多様な英語のカリキュラムを行い、グローバルな視点で幅広く教養を身につけるリベラルアーツクラスです。英語多読多聴、



ヴァイオリン、油絵を取り入れた、FLAP(Fujimigaoka Liberal Arts Program)の時間では、教養を育み、心の涵養を図ります。男子クラスは、英語に加え、数学を基軸とした理数特進クラスです。中学3年次の数学では、アルゴリズムも学びます。中学3年次に、女子はオーストラリア、男子はアメリカに海外研修に行きます。また、男女共に中学3年次の夏期休業中に勉強合宿を実施し、希望進路の実現に向けての更なるモチベーションを高めます。

高校段階は、原則、共学クラスの特進クラスへ全員が



進学しますが、希望進路の多様性に対応するために女子進学クラスも設置しています。希望により女子は進学クラスに進学することもできます。女子進学クラスの生徒は、高校1年次の成績によっては、高校2年次から特進クラスへの進級も可能です。高校2年次からは、特進クラスは文系特進クラスと理系特進クラスに分かれ、必修選択科目に加え、自由選択科目も充実したカリキュラムを準備し、より高みを目指して希望進路の実現を後押ししています。

中学1年次から一部の授業や学年行事、学校行事、生徒会活動や部活動等は、男女混合で行っています。

中学 カリキュラム

	1	女 男	国語5 社会3	数学5 理科4 英語6												英会話 FLAP	主要5科 その他	総時間数
				数学6	理科4	英語6	英会話											
2	2	女 男	国語5 社会4	数学5 数学6	理科4 理科4	英語6 英語6	英会話 英会話	多言語	26	11	36	26	11	36	26	11	36	26
3	3	女 男	国語5 社会4	数学5 数学6	理科4 理科4	英語6 英語6	英会話 英会話	総合※1	26	10	35	26	10	35	27	10	36	27

高校 カリキュラム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	主要5科 その他		総時間数									
女子 進学	1	国語総合5		日本史A 2		世界史A 2		数学I 3		数学A 3		物理基礎 2		化学基礎 2		生物基礎 2		コミュニケーション 英語I 3 英語表現I 3		英会話2 ※2		英会話2 ※2		英会話2 ※3		28	7	35													
	2	現代文B 4		古典B 3		世界史B 6		日本史B 6		生物 3		コミュニケーション英語II 6		英会話 英語特講2 2		英会話 数学特講2		英会話 英会話		23		11	34																		
	3	現代文B 3		古典B 3		現代社会 2		コミュニケーション英語III 4		英語表現II 3		自由選択科目 0～14		15～29		6		21～35																							
特進	1	国語総合5		日本史A 2		世界史A 2		数学I 3		数学A 3		物理基礎 2		化学基礎 2		生物基礎 2		コミュニケーション 英語I 3 英語表現I 3		英会話2 ※2		29+1 ※3		7	37																
	2	現代文B 3		古典B 3		世界史B 6		日本史B 6		理科基礎 特講 2		コミュニケーション英語II 6		英会話 古典文学講読3 数学II 4		英語α 3 数学B 2		英会話 英会話		29+1 ※3		7	35	37																	
	3	現代文B 3		古典B 3		現代社会 2		コミュニケーション英語III 4		英語表現II 3		自由選択科目 0～14		15～29		7		22～36																							
文系 特進	2	現代文B 2		数学II 5		数学B 3		化学 4		物理 4 生物 4		コミュニケーション英語II 6		英会話 古典基礎2 理數講習2		英語表現I 3		英会話 英会話		29+1 ※3		7	35	37																	
	3	現代文B 2		现代社会 2		コミュニケーション英語III 3		英語表現II 3		数学III/数学応用 5		日本史B 5		自由選択科目 0～14		15～29		7		22～36																					
	4	現代文B 2		数学II 5		数学B 3		化学 4		物理 4 生物 4		コミュニケーション英語II 6		英会話 古典基礎2 自由選択 理數講習2		英語表現I 3		英会話 英会話		29+1 ※3		7	35	37																	
理系 特進	2	現代文B 2		现代社会 2		コミュニケーション英語III 3		英語表現II 3		数学III/数学応用 5		日本史B 5		自由選択科目 																											

◆ 英語教育

中学では教科書に加えオリジナルテキスト「Bridge」を使い、6技能をバランス良く運用して知識を定着します。また「Crown Plus」では、英文に触れる量を増やすなど、学びの「繰り返し」を大切にしています。2年次から文法の授業を分級し、実力を伸ばします。高校では、言語・文化・環境・医療などの様々な分野の見識を広め、「Lingua Francaとしての英語」を身につけるとともに、英語を通じて視野を広げ、豊かな人間性を育み、卒業後も生涯にわたり「自立した学習者」として成長できる力を養います。ディベートやエッセイライティングを行い、自分の意見を発信する機会も大切にしています。また、帰国生には状況に応じて「取り出し授業」を行っています。

英検、GTECの受検を必修化しており、中学で英検準2級、高校で英検準1級を取得することを目標としています。2019年度には日本英語検定協会からブリティッシュ・カウンシル駐日代表賞^{*}を受賞しました。本校は英検準会場校となっています。

*英検取得率が極めて高い団体に贈られる賞で、2019年度は全国で6校が受賞

◆ 朝学習

朝学習では英語・数学・国語の基礎学習だけでなく、大学受験や英語検定でのCBT^{*}対策として、キーボード入力を身につけます。中学1・2年ではローマ字入力でのタイピングと日本語の文章入力を練習します。中学3年では自分の好きな英語の歌の歌詞や、英語の本の文章を題材にして英文の入力を練習し、タイピングで英語のチャットができるようにします。

*CBT (computer based testing)=コンピューターを用いるテスト形式のこと



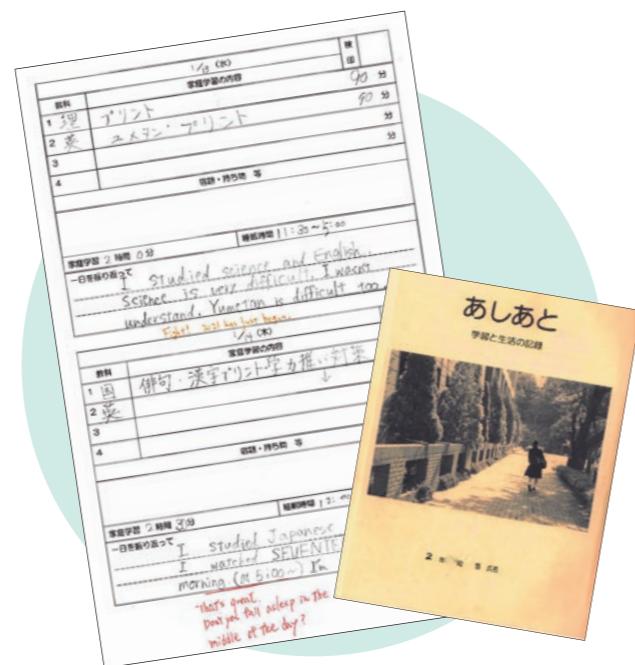
◆ 数学教育

数学への興味・関心を重視し、生徒たちが数学を好きになることを大切にしています。その一環として、中学の3年間、毎年夏休みに数学に関するテーマを各自で選び、レポートを作成する課題を課しています。優秀な作品は、文化祭で展示しています。また、数学検定を年2回校内で実施し、学習のモチベーションを高めています。1stステージでは、授業を数量分野と図形分野に分け、基本的な概念や原理・法則の理解を深めながら、先取り学習を進めます。2ndステージでは、将来の進路決定を見据えながら、高校数学の基礎を学習します。3rdステージでは、多様な進路に応じた選択科目を設定し、高度な内容の理解と技能の習得を図ります。



◆ あしあと

中学1・2年次は、担任と学習記録ノート「あしあと」をやりとりし、生活と学習のリズムを身につけます。担任との信頼関係が生まれ、学校生活への安心感や学習意欲の向上にもつながっています。



◆ 国語教育

思考の基礎は、国語力にあります。答えのない未来社会をより良く生きるために、語彙力を養い、思考力を深め、読解力や表現力、そしてコミュニケーション力を高める必要があります。本校では中学段階で「国語ディクテーション」を導入し、「聴く力」と「書く力」を培いながら、思考の基礎力を育みます。また「漢字月例テスト」を実施し、語彙力を養います。中学3年次から高校段階の古典を先取りしています。課題作文を実施し、思考して「記述する」ことを大切にしています。さらに、学年、司書教諭と連携し読書に親しむ活動を取り入れています。



◆ TERAKOYA(中学)

7時間目枠で実施する、中学段階での放課後学習支援TERAKOYAでは、自学自習の習慣を培うとともに、漢字月例テストや英語、数学を中心に問題集に取り組みます。学年の先生や卒業生が対応するので、毎日の「わからない」が解消します。

CHECK!

高校生対象 Success Club & Success塾

放課後学習支援「Success Club」は、チューターと二人三脚で、予備校に行かなくても難関大学合格を得るための自学自習を後押しする制度です。チューターは、生徒にとって身近な目標である大学生や大学院生が担当します。「Success塾」は、放課後校内予備校です(有料)。大学受験の鍵となる英語・数学をメインに1講座5名という少人数から開講します。英検講座は級別で実施しており、中学生も受講できます。現在元インターナショナルスクール教員で英検準1級審査員の経験がある講師を招いています。準1級講座、2級講座は受講を推奨しています。

◆ 長期休暇講習

長期休暇中は、中学1年から高校1年までは基礎学力の徹底を図るために、英語・数学・国語の主要3教科に焦点をあてて講習を行っています。高校2・3年では個々の希望進路に応じて講習を設定し、国公立・難関私立大学受験を後押ししています。加えて大学入試直前には、大学入学共通テスト対策講習、私大・2次試験対策講習も実施し、大学受験への万全な対応をしています。

◆ スタディサプリの活用

全学年に授業動画配信「スタディサプリ」を導入しています。授業の内容に合わせての視聴課題を行うことで、学習内容の定着を図ります。中学3年・高校1年次には到達度テストを実施し、その結果に応じて弱点克服のための個人にあわせた講義視聴課題に取り組みます。空き時間や自宅でも受講が可能なので、自分のペースに合わせた勉強ができます。

◆ 受験英語特訓講習

国公立、早慶上、MARCHレベル以上の難関大学現役合格を後押しするため、経験豊富な現役の大手予備校の講師が担当しています。特進クラスは文系クラス・理系クラスとも全員が必修です。(高2・3年対象)

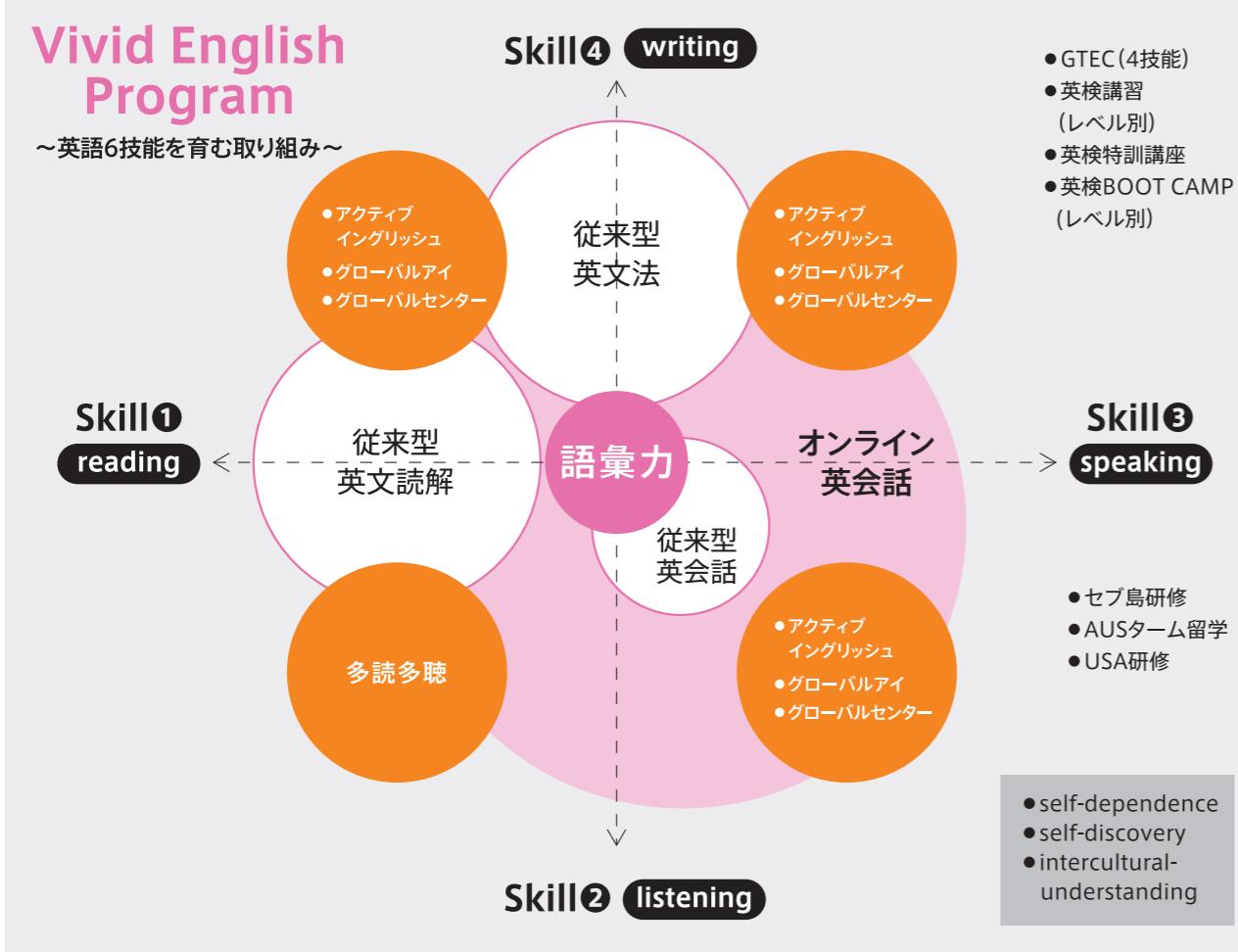


Point 2**活きた英語力**

英語6技能を伸ばす

**活きた英語力の養成**

グローバル社会では、Lingua Franca^{*}としての英語でのコミュニケーションが不可欠です。「読む」・「書く」・「聴く」・「話す」に「やりとり」・「発表」を加えた英語6技能が必要です。語彙力や文法重視の従来型の英語教育とコミュニケーション力重視の新たな英語教育との両輪で、「活きた英語力」を育みます。※Lingua Franca=国際共通語

**◆ ネイティブ副担任(中1・2)**

朝や帰りのホームルーム、ランチタイム、学校行事など、学校生活の多くの時間をネイティブの先生と一緒に過ごします。日常的に英語を「聞く」「話す」環境を作ることで、自然に使える活きた英語力が身につきます。

◆ Global Eye(中3・高1必修)

英語を母国語としない様々な国からの留学生と英語というツールでコミュニケーションを図り、他国の文化を学び理解し(Global)、日本の地域・文化を相互理解し(Local)、他国から見た視点で日本の魅力をまとめ世界に発信すること(Glocal)を目的にしたプログラムです。生徒4~5名と留学生1名という少人数でのグループ活動で実施し、英語でのアウトプット力を向上させます。高校1年次はSDGsをテーマにしたプログラムです。

**◆ 英検講習**

英検2次会場校に選定されており、大学入試改革に対応した、GTEC・英検受検を必修化しています。中学段階で英検準2級、高校段階で英検1級、CEFRでB2レベル以上の取得を目指し、学年を超えた講習を効果的に行ってています。(希望制:有料)

◆ 英検BOOT CAMP

セブ島の英語学校の講師が、本校で英検講習を実施します。グループクラスとマンツーマンクラスの授業の組み合わせで、発音やスピード翻訳、会話に重点を置いた反復練習など、徹底的に日本人向けの英語カリキュラムを実施します。学年を超えて、英検3級から準1級までの級別のプログラムを用意しています。(希望制:有料/4日間)

◆ オンライン英会話(中3・高1必修)

マンツーマンで英語の授業が受けられるオンライン英会話は、たくさん英語を聞いて話すことができる、リスニングやスピーキングの能力を伸ばすのに最適です。また、Lingua Francaとして英語を習得した先生たちとの会話は、多様な国の人々が話す英語を聞き取る必要がある英語資格試験にも役立ちます。他学年でも希望制で実施しています。

◆ 多読多聴(中1・2女子必修)

「たくさん読んで、たくさん聴くこと」。中学女子クラスのFLAPの時間に実施している多読多聴は、英語のインプットを多くすることで、長文読解力、リスニング力、語彙力をアップさせます。EVANカンパニーの「read to me」を使用しています。

**◆ ソーシャルエンジニアリング(高2必修選択)**

本校独自の科目「英語α」の一部で実施している教育と探求社のクエストエデュケーションのプログラムです。山積する社会問題に対し自ら課題を発見し、その課題を探究する、全て英語で行うPBL(問題解決型学習)です。2020年度は、SDGsをテーマに取り組み、クエストカップ全国大会への出場を果たしました。

CHECK!**5年連続で英検奨励賞を受賞!**

2019年度には、ブリティッシュ・カウンシル駐日代表賞^{*}を受賞しました。

本校は英検準会場校となっています。



*英検取得率が極めて高い団体に贈られる賞で、2019年度は全国で6団体が受賞

海外研修

◆ オーストラリア研修(中3女子必修)

中学3年の1月に実施する9日間のオーストラリア海外研修は、異文化理解・異文化交流をテーマにした体験型の研修です。ファームステイ、ドミトリーステイ、現地の学生との交流など、一人ひとりの生徒が自ら主役として海外での生活を体験する本校独自の海外研修プログラムです。日本との緊密な関係や、オーストラリアの歴史や文化を学ぶことで、他国を尊重する態度を育成する大切な機会と考えています。

(費用 約45万円/9日間)

◆ セブ島英語研修(中1～高2)

マンツーマンでの英語学習をセブ島で実施しています。英語は、フィリピンの公用語ですが、自らも小中高で学んだ経験を持つ先生方の教え方は、英語を母国語とする欧米人に比べ分かりやすく親しみやすいものです。一人ひとりが学ぶ主体となる英語学習は、生徒のやる気を引き出し、生徒の意識を一変させ、高い満足感に繋がっています。(希望制:費用約30万円/2週間)



◆ アメリカ西海岸大学訪問研修(中3男子必修)

将来、グローバルに活躍できる人材の育成を目指し、世界最高峰のスタンフォード大学やカリフォルニア大学バークレー校などで現役大学生との交流を持ち、視野を広げ将来のビジョンを描くプログラムです。ホームステイやシリコンバレーのグローバル企業訪問を通じ、世界の最先端を実感するプログラムです。(高1・2年希望制:費用 約50万円/1週間)

◆ オーストラリアターム留学(中3女子・高1・2)

英語力の獲得と生徒の自立と自己発見がテーマです。本校に在籍しながら、アデレードの公立校に通えます。現地の教育省や学校との緊密な連携のなかで、生徒の判断力・自己主張・自己責任の力を養い、自らに対する自信が将来への夢を育みます。中学3年女子は、オーストラリア研修と統けて高校入学までターム留学ができます。(希望制:費用約120万円/2.5ヶ月間)



◆ 生徒の声

私は、セブ島英語研修を通して、英語だけでなく、コミュニケーション力も身についたと思います。分からぬ単語も先生の説明で理解できたり、それでも分からなければすべて質問しました。また売店やガードマンの人と交流したり、他学年の先輩と話したり、とても楽しく良い経験になりました。アイランドホッピングでは海外ならではの乗り物に乗り、現地の子どもたちと交流できました。一番の思い出は、乗り物に乗っているときに周りにいた人たちが微笑みかけたり手を振ってくれたりしたことです。フレンドリーでとても良い心を持った人たちだと心の底から思いました。

高校1年 T.Aさん



※ 2021年度以降の実施については、状況によって実施中止、または代替案となる場合がございます。

Point 3

理数教育

AI時代を生きるために
思考力を身につける



◆ アルゴリズム(中3男子)

問題を解決するための手順や解決方法であるアルゴリズムは、問題解決のプロセスを細かく分けて、論理的に順序良く組み立てて考える力を育みます。男子特進クラスの数学で実施します。

◆ 理系の学び講座(中3・高1)

この講座は、進路選択をする前の中学3年・高校1年の「理系の掘りおこし」を行うため、大学の先生や大学院生の最先端の研究を、生徒にもわかりやすく講義して頂くプログラムです。講義のあとは質問タイムもあり、活発な盛り上がりを見せる楽しい講座となっています。



◆ プログラミング講座

東京理科大学発のベンチャー企業と連携し、好奇心を駆り立てるプログラムを実施しています。中学生の希望者がARアプリをつくり文化祭で発表しています。夏期特別講習ではプログラミング言語Pythonで、簡単なゲームを作成します。(有料)

◆ 理数探究(高2理系特進クラス選択)

授業では単元にない数学の問題に触れます。また、理系学生に必要なグラフの読み方、分析の仕方やレポートの基本的な知識を学びます。後半は自分で題材を選び、大学の先生などにも助けて頂き探究発表をします。

◆ 理系大学キャンパスツアー

高校1・2年の理数系進学希望者対象に、大学のキャンパスツアーを実施しています。東京工業大学のキャンパスツアーでは、海外の大学3校との4元中継による衛星講義(すべて英語)も体験し、大学での学びを具体的に実感しました。



Point 4

生きる力

社会で活躍する力を育む

**◆ 礼法(中1)**

グローバル、ダイバーシティという言葉がクローズアップされる社会だからこそ、日本人としてのアイデンティティーを確立することが大切です。「礼法」の授業を通して日本伝統文化を理解すると同時に、TPOに応じた立居振る舞い、思いやりの心や品格を育みます。

◆ 他人史(中1)

他者を認め、理解して受け入れることは、自尊感情や自己肯定感を高めることにつながります。自らの成長への意欲を喚起・向上させ、「自分も他者も等しくかけがえのない存在である」ことを知り、併せて調査・研究・発表の方法も学びます。

◆ プロフェッショナルに学ぶ(中3)

多様な職業についている人たちの話をうかがうことで、誇りを持って仕事をすることの意味を知り、自身の生き方や、将来に向けて今出来ることは何かを考え、職業選択の幅を広げます。

◆ 課題探究(高2)

これまで培った自分の生き方についての価値観や職業観をもとに、自分の進むべき進路の方向性を探り、最も関心を抱くテーマを選択・探究し、小論文を作成します。思考力・判断力・表現力・主体性を養い、自己実現の礎となる取り組みです。

◆ 地域研究(中2)

生徒にとって身近な地域や日本国内の様々な問題を題材に、どのようにデータを読むべきか、またまとめるべきか、結果として何がいえるのか、もしかしたら違うアプローチがあるかもしれない、というように、情報収集・分析能力に加え、新しく情報を編集する力や複眼的な思考力を養います。答えが1つであるとは言えないからの社会を生きる力を育みます。

◆ 哲学対話(中3・高1)

哲学と聞くと、堅苦しくて難しいイメージがあります。哲学対話は、疑問や考えを安心して自由に話せる場、参加者どうして互いの話を聞きあう場です。哲学の専門的な知識はまったく必要ありません。身近な「なぜ」を深掘りし、「問い合わせ、考え、語る」ことを主眼としています。2019年度には、東京大学大学院 梶谷真司教授をお招きし、実施していただきました。



ジェネリックスキル～「生きる力」の育成

◆ 企業連携型探究学習(高1)

高校1年次に、教育と探求社が主催する探究学習プログラム「クエストエデュケーション」の「企業探究コース」部門に参加しています。実在の企業から出された答えのない課題に、チームの総合力で約半年かけて答えていきます。考え方抜き、生み出した探究の成果を、社会に向けて発信発表する場であるクエストカップに毎年参加しています。2020年度は朝日新聞社チームとメニコンチームが全国大会に勝ち進み、6年連続全国大会出場となりました。クエストカップは探究力と創造力に加え、プレゼンテーション能力も求められるので、ジェネリックスキルを育む絶好の機会となっています。

メニコンで全国大会出場**【マジックメロン】**

「目の見えない人の脳に、直接視覚情報を送ることができるエコローションの手袋」を企画

◆ 生徒の声

高校2年 N.Yさん

私は全国大会に出場したことでの意見を出し合って1つのものを作る大変さを学ぶことができました。与えられたミッションに対してグループのみんなと話し合いをして行く上で、私にはないいろいろな視点からの意見を知ることができ、考えが深まりました。また、自分のグループの意見がどのようにしたらわかりやすくたくさんの人の印象に残るように伝えられるかを考える力がつきました。

**朝日新聞社で全国大会出場****【食べられる新聞】**

「栄養成分(海藻など)を配合した、すべて食べができる新聞紙」を企画

◆ 生徒の声

高校2年 N.Sさん

私がクエストで学んだことは伝えられることの難しさです。今回のミッションの私たちの解答は「食べられる新聞」でしたが、特徴をまとめるだけだと何を伝えたいのかわからなくなってしまいました。任務、内容、形状を詳しく表やグラフを使ってわかりやすく伝えられるよう工夫しました。また3人で何度も見直しをして伝えたいことがブレていないか確認しました。これからの発表でも伝え方を工夫したいです。

**CHECK!****Fujimigaoka Liberal Arts Program(FLAP)(中学女子クラス)**

FLAPは、中学の3年間で、感性を育み、心の涵養を図り、教養を深め、将来、国際教養人として社会的使命を果たせるような資質を高め、未来社会に羽ばたくための、本校独自のプログラムです。「英語の多読多聴」に加え、「ヴァイオリン」「油絵」を通じて芸術に触れ、その背景を学びます。また3年次の「国際教養基礎講座」では、自ら起業して国際社会で活躍している女性の講演会などを通じてアントレプレナーシップを学びます。



進路指導

1人ひとりの
夢を実現します。

進路選択力を育み、難関大学合格力を身につける

すべての生徒が高い進路目標を掲げ、実現するために、成長段階に合わせたきめ細かい進路指導を行っています。1st・2ndステージで、土台となる正しい学習・生活習慣と確かな基礎学力を育成するとともに、進路目標達成に向けた強い意志を培います。3rdステージでは模試の分析やカウンセリングなど様々な取り組みで難関大学合格に向けて多角的に力強くサポートします。

3rd
stage

目標とする進路実現に向けた発展的な学習とサポート体制

高い進路目標の実現に向けて高校2年では穴を作らせない学習と基礎学力を完成させます。高校3年では、模試の分析と徹底した進路面談で目標達成に向けた受験プランを練り、9月からは過去問研究を徹底し、難関大学入試に臨みます。

2nd
stage

自立した学習姿勢の確立と進路の決定

身につけた学力をより確かなものにし、さらに、将来の職業選択を見据えた高い学習能力と意欲を育みます。総合学習や各種進路行事を通じ、幅広い教養と視野を身につけると同時に自己の適性を見極め、高い進路目標を持つよう指導します。

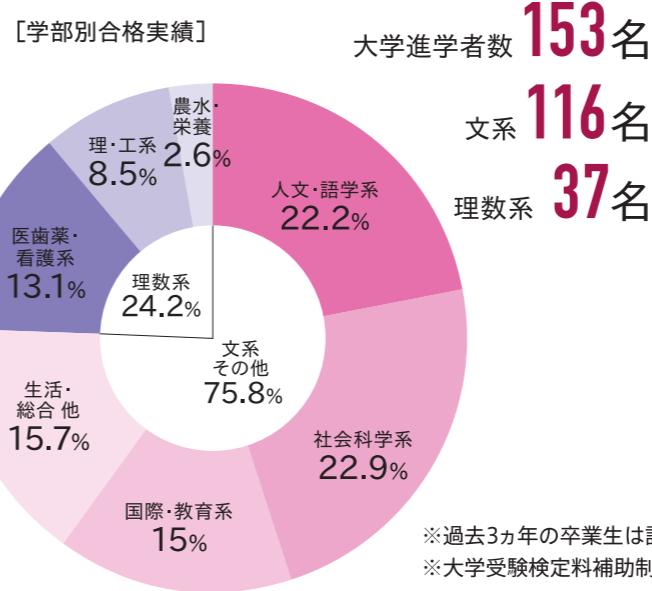
1st
stage

正しい学習・生活習慣の確立

確かな学力を養成するためには、正しい学習・生活習慣が確立されていることが最も重要と考えます。1stステージでは、学習記録「あしあと」やTERAKOYAを活用し、正しい学習・生活習慣を確立します。長期休暇中の講習では、英語・数学・国語を中心に、日頃の授業で扱えなかった分野の強化に努めます。



◆ 卒業後の進路情報(最近3ヵ年)



国公立・難関私大
及び医歯薬・看護系大学 合格実績

国公立大学	
横浜市立	1
神奈川県立保健福祉	4
北海道教育(札幌)	2
長崎	1
長野県立	1
防衛医科大学	1

G M A R C H	
学習院	1
明治	6
青山学院	4
立教	4
中央	8
法政	4

主な 医歯薬・看護系大学	
杏林	3
星葉科	1
北里	6
その他多数合格	

Message from OG (2020年 卒業生)

OG Message 01



◆ 温かさと創造力を学んだ

学園生活では人の温かさや強さを学びました。先生との距離が近く、第二の親のようにいつでも頼れる存在がいる安心感は精神的なゆとりとなりました。自分を熟知してもらえるのは少人数の大きなメリットです。受験期の励ましの言葉は今も心に深く残っています。また、文化祭実行委員の活動を通して、既存のルールにただ従うのではなく、自ら計画・行動する楽しさを知りました。衝突もありましたが、みんなで助け合い、新しいことを創造した時の達成感は大きな糧となりました。

K.Sさん 中央大学



◆ 様々な出会いと手厚いサポート

バラエティに富んだ行事や講演では、様々な人と出会い、やりたいことを考える良い機会となりました。特にGlobal Eyeでは、母語ではない英語で談笑している留学生達の姿に「私もこの輪に入りたい!話せるようになりたい!」という思いがこみ上げ、英語学習の転機になりました。また去年はオンラインによる丁寧な質問対応と、友達や先生の励ましが第1志望校の合格につながりました。今後も本校での充実した経験を活かし、目標に向かって様々なことに挑戦していきたいです。

K.Sさん 神奈川県立保健福祉大学

OG Message 03



◆ 受験で活きた部活動の経験

6年間続けたチアリーディング部で学んだ諦めずに取り組む姿勢は、受験で存分に活かせたと思います。そして受験を乗り越えられたのは、先生方が私が納得いくまで教えて下さったこと、それでも不安になった時に、全て受け止めた上でアドバイスをくれたお陰です。光が差し込む木目調の温かな雰囲気の教室で、明るく優しい級友と勉学に部活動に打ち込んだ日々は私の宝物です。大学では親身になって下さった先生方に一步でも近付けるように多くのことを学んでいきたいです。

N.Hさん 北海道教育大学(札幌)

横浜富士見丘学園の1年

※行事は2021年度実施予定です

1 year

居心地の良い時間が流れる学校生活

6年間の学校生活で体験する多彩な行事を通じて、興味関心の芽が大きく膨らみます。同級生や先輩、後輩と協働する中で、自ら考え行動する力が培われ、様々な人々への共感力や創造力が養われます。

4月 April



- 入学式
- 新生入歓迎会

体育祭

6月 June



- 前期中間試験
- 校内・校外学習
(中1・2)
- GTEC

短期留学

8月 August



- 夏期講習
- 勉強合宿(中3)

期末試験

10月 October



- 文化祭
- 校内・校外学習
- Global Eye(中3)
- 修学旅行(高2)
- 英検

芸術鑑賞会

12月 December



- 後期中間試験
- 冬期講習
- GTEC

スキー教室

2月 February



- セブ島英語研修(全学年希望者)
- アメリカ西海岸大学訪問研修
(中3男子・高1・2年希望者)
- Global Eye(高1)
- レシテーションコンテスト(中学)
- スピーチ・コンテスト(高1・高2)

卒業式

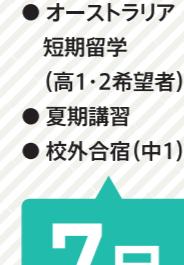


入学式

5月 May



海岸清掃



- オーストラリア
- 短期留学
(高1・2希望者)
- 夏期講習
- 校外合宿(中1)

クラリカ活動



- 前期期末試験
- 授業参観
- 芸術鑑賞会
- 講演会

文化祭

11月 November



冬期講習

1月 January



セブ島研修



- 卒業式
- 後期期末試験
- 音楽祭
- 春期講習

3月 March

横浜富士見丘学園の1日

1 Day

8:15	8:30	8:45	9:45	10:45
朝学習	ホームルーム	1時間目	2時間目	3時間目
11:45	12:35	13:20	14:20	15:20
4時間目	昼休み	5時間目	6時間目	7時間目
16:10				放課後・部活動



横浜富士見丘学園の1週間

1 week

中1(女子クラス) 時間割表(例)

限	時間帯	月	火	水	木	金	土
1	8:45~9:35	美術	社会	図形	理科1	理科1	社会
2	9:45~10:35	総合	英語G	理科2	数量	体育	理科2
3	10:45~11:35	国語	数量	家庭	国語	国語	図形
4	11:45~12:35	LHR	礼法	家庭	音楽	英語R	国語
昼休み 12:35~13:20						HR 12:35~	
5	13:20~14:10	英語G	英語R	社会	FLAP	英語G	
6	14:20~15:10	英会話	体育	体育	英語R	道徳	
7	15:20~16:10	数量		国語		TERAKOYA	
HR/掃除 火・木15:10~ 月・水・金16:10~							

HR/掃除 火・木15:10~ 月・水・金16:10~

高1(特進クラス) 時間割表(例)

限	時間帯	月	火	水	木	金	土
1	8:45~9:35	物理	日本史	現代文	現代文	総合	数I
2	9:45~10:35	数A	数I	古典	世界史	情報 (PC教室)	古典
3	10:45~11:35	体育	数A	オンライン 英会話	英会話	英表I	コミュ英I
4	11:45~12:35	LHR	物理	英表I	数A	化学	コミュ英I
昼休み 12:35~13:20						HR 12:35~	
5	13:20~14:10	生物	化学	日本史	保健	体育	
6	14:20~15:10	世界史	生物	コミュ英I	英表I	古典	
7	15:20~16:10	数I		情報 (PC教室)		英語講習	
HR/掃除 火・木15:10~ 月・水・金16:10~							

クラブ活動

Club activities

放課後にはクラブ活動が盛んに行われています。

バドミントン部やダンス部、チアリーディング部、吹奏楽部、地理研究部などは優秀な成果を収めています。



運動部

剣道	バドミントン
ソフトテニス	♥ バレーボール(H)
♥ ダンス	◆ 卓球(同好会)
チアリーディング	◆ フットサル(同好会)
♥ バスケットボール(H)	

文化部

科学	創作
家庭科	地理研究
軽音楽(H)	放送演劇
茶道・華道	囲碁・将棋(同好会)
JRC・IAC	eスポーツ(同好会)(H)
吹奏楽	

♥ 女子のみ ◆ 男子のみ
H 高校のみ

施設紹介

Institution guide

港横浜にふさわしい瀟洒な煉瓦づくりの外観に
木製の床や壁、間接照明の廊下、ギャラリースペースの
多さなど恵まれた美的環境となっています。
さらに、教育環境として望ましい回遊性、
生徒の心理面を配慮した空間の確保、警備員の配置、
監視カメラの整備など、生徒の安全と適応に
最善の校舎・設備となっています。



大規模地震にも耐えられる施設 万全の防災対策を進めています。

本校の校舎のIS値(構造耐震指標)は「0.9」あり、基準値の1.5倍に設定されています。これは、震度6強程度の地震に対しても、倒壊や崩壊の危険性は低いと考えられている数値です。また災害に備えて毛布や乾パン、飲料水などを防災倉庫に備蓄しています。今後もさらなる防災対策に努め、生徒と保護者の「安心」をしっかり支えていきます。



直線100m、200mトラックを備えた砂入り人工芝(オムニ)仕様です。



職員室に隣接しており、生徒の質問・相談に使用します。



校舎中央にある円形の屋上庭園です。



学食、自販機コーナーなども設置されています。



バスケットボールコートが2面とれる広さがあります。



校舎と切り離された庭園付きの和風空間です。



2階層吹き抜けの1,000名収容の大ホールです。



様々なジャンルの図書が揃っています。

校舎の中心に位置する図書室はITラウンジを併設した総合情報スペースです。蔵書は約30,000冊を誇り、中高生に人気の図書や洋書などが揃っています。読書好きの生徒を育むだけではなく、探究学習やレポート作成、進路指導の際に利用されています。また、学年を越えて集う、憩いの場にもなっています。

制服紹介

School uniform



中学冬服



中学夏服

男子はブレザー、女子はセーラー服で、男女とも紺色を基調とし、アクセントにスクールカラーのえんじ色を施しています。1950年に制定された女子の制服のネクタイが共布なのは、制服をつくるときにできる端切れの共布を胸元に結んだのが始まりで、今も受け継がれるエコ精神の表れです。男子の制服は、上品で落ち着きのあるブレザースタイル。夏服のスラックスの色は、えんじ色の格子柄がさりげなく入った清新なグレイです。同じ生地で作られた女子の夏用替えスカートも好評です。ネクタイの色は男女とも中学生がえんじ、高校生が紺です。



高校冬服



高校夏服



体操服



通学カバン

通学用
リュックサック

Spirit of Foundation

建学の精神

1932年(昭和7年)、本学園の前身である日の出女学校を受け継ぎ富士見丘高等女学校を設立した澁谷近蔵は、「眞の教育は魂の教育と信ずるが故に、どこまでも修養本位・人物本位で教育せねばならぬ。」と考え、本校の建学の精神と定めました。学制改革により、1947年(昭和22年)、富士見丘中学校、1948年(昭和23年)、富士見丘高等学校と改めましたが、この「建学の精神」を受け継ぎ、教育方針の中心を「和」としました。「敬愛」「誠実」「自主」を校訓として今日まで、精神育成に努めてきました。

Emblem -校章-



1957年にデザインされた校章は、中央に雪を頂く霊峰富士、横にひかれた波型の線は横浜港、右上の丸は潮しぶきを表しています。全体で、横浜富士見丘学園を簡潔に象徴したもので、そこには富士山のように雄大な気持ちを持ち、「清く」「美しく」「気高く」、素晴らしい人間(ひと)に育って欲しいという願い、また横浜港からその先に無限に広がる海は、無限の希望、志(夢)を抱いて欲しいという願いがこめられています。輪郭の円は、教育方針の「和」を表現しています。

History -沿革-

- 1923 児崎為楨 横浜市野毛町に本校の前身「日の出女学校」創立。
1924 関東大震災のため、横浜市西区東久保町に校舎を新築移転。
1925 横浜市内で4番目の4年制高等女学校の認可を受け、「児崎高等女学校」と改称。5月26日を創立記念日と定める。校歌[作詞:金子彦二郎/作曲:信時潔]・校章を制定。
1928 野口援太郎 第2代校長に就任。
1931 澁谷近蔵 第3代校長に就任。校旗制定。
1932 澁谷近蔵 創立者となり、校名を「富士見丘高等女学校」と改称。
1943 財団法人「富士見丘高等女学校」の設置認可。澁谷近蔵 初代理事長に就任。
1947 学校改制で「富士見丘中学校」設置認可。
1948 学校改制で「富士見丘高等学校」設置認可。PTA発足。創立25周年記念式典挙行。教育方針を「和」と定める。
1949 澁谷陽一 第2代理事長兼第4代校長に就任。
1950 制服を現在のセーラー服に制定。
1951 学校法人「富士見丘学園」設立。生徒会発足。
1957 校章・校旗を現行のものに改定。あわせて「敬愛」「誠実」「自主」の校訓を定める。
1973 創立50周年記念式典挙行。
1986 澁谷瀧次 第5代校長に就任。
1989 理事長 澁谷陽一勲4等旭日小綬章受章。
1992 澁谷一郎 第6代校長に就任。
1998 創立75周年記念式典挙行。
2001 澁谷一郎 第3代理事長に就任。
2005 豊岡 稔 第7代校長に就任。
2007 横浜市旭区中沢に校地移転、新校舎完成。「横浜富士見丘学園中等教育学校」設立(富士見丘中学校を廃止)。
2010 富士見丘高等学校廃止。
2013 創立90周年記念式典挙行。松田由紀子 第8代校長に就任。
2016 澁谷一郎 第9代校長に就任。
2018 「横浜富士見丘学園中学校・高等学校」新設。駒崎健 第10代 校長に就任。
2019 共学化。永川尚文 第4代 理事長に就任。岩崎幸雄 理事会会长に就任。

2022 Guidance Information

学校説明会

予約不要 10:00~11:30

7.17*(土) **11.12**(金)
9. 8(水) **12. 4**(土)
10.22(金) **2022 1.14**(金)

*印は14:00~15:30

オープンスクール

要予約 10:00~12:30

7.31(土) **8.21**(土)

文化祭
予約不要 個別相談コーナーあり

入試対策会
要予約 9:00~12:00

プレ入試体験会
要予約 9:00~12:00

10. 2(土)

11.28(日)

2022 1. 8(土)

過去問解説会

要予約

適性検査説明会

要予約

10.23(土)

10:00~12:00

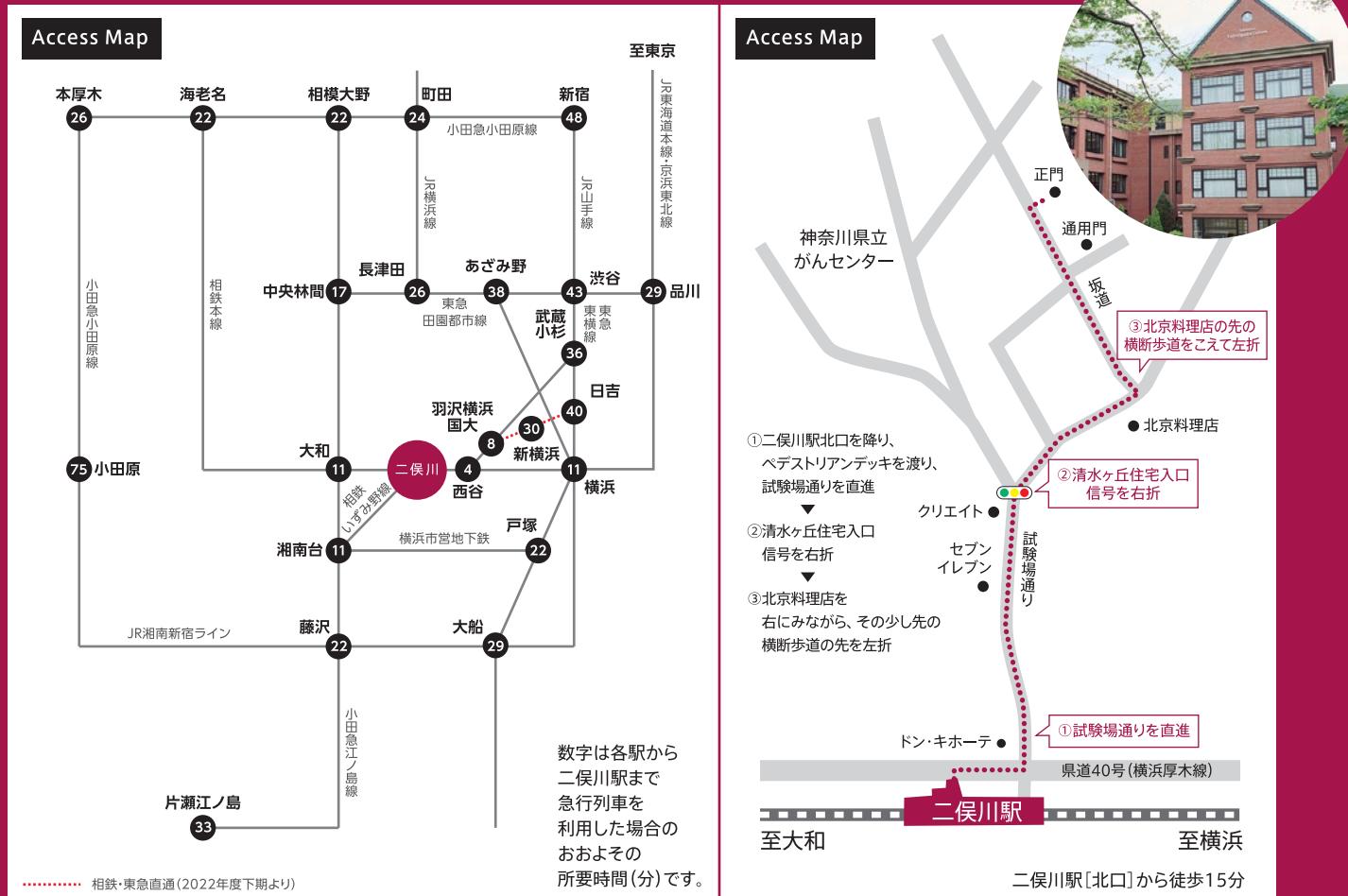
10.23(土)

14:00~16:00

10. 3(日)

◎各回終了後に校内見学・個別相談会を行います。

◎日時は変更する可能性がありますので、詳細はHPでご確認ください。



◎見学は随時受け付けております。ご希望の方は下記までご連絡ください。

横浜富士見丘学園中学校・高等学校

〒241-8502 神奈川県横浜市旭区中沢1-24-1 Tel.045-367-4380 [代表] Fax.045-367-4381 <https://www.fujimigaoka.ed.jp>

